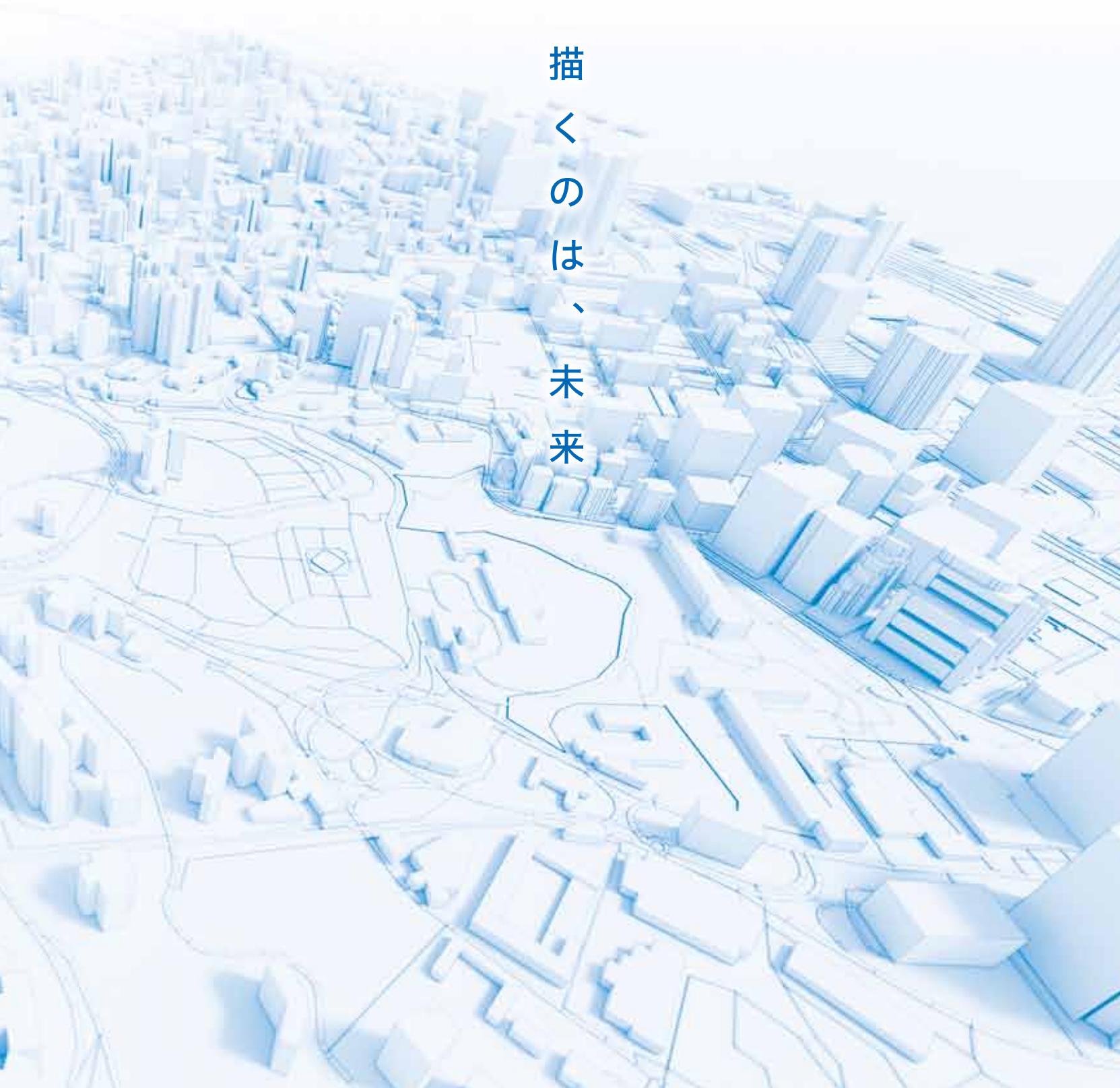


CENTRAL



描
く
の
は
、
未
来



誠意と情熱ある行動力と高い技術力によってお客様の信頼に応え、高度な技術サービスを提供することにより社会貢献を果たします。

代表取締役 社長執行役員 中田 健一

当社は1967年に「真の総合コンサルタント会社としての体系を整えること」を目的に設立され、56年間総合建設コンサルタントとして国内外の社会資本整備を通じて社会貢献をしてまいりました。

2023年10月に、会社の将来像を明確化し、その実現により企業価値の向上を図るべく、「2023中期経営計画」を策定しました。

この中では、オープンな企業風土の醸成、人的資本投資による自発的な人材の育成、技術力の強化によるシン(新・進・深)領域の拡大を掲げています。

地球温暖化をはじめとする環境問題、自然災害の激甚化・頻発化、人口、エネルギー問題等社会的課題が変化する中、建設コンサルタントに求められるニーズも大きく変化してきております。変化するニーズに対応するためには、これまでの経験から培ってきた技術力に加えて、一つの情報からでも多くの物事を捉える想像力が重要になります。高度な技術力と豊かな想像力をもって、他業種との連携・協働による新たな領域の創造、先端技術の研究強化による先進的な領域への挑戦、技術高度化による既存領域の深化に取り組んでまいります。

「誠意と情熱ある行動力と高い技術力によってお客様の信頼に応え、高度な技術サービスを提供することにより社会貢献を果たす」という経営理念のもと、今後もプロフェッショナルとして高い倫理観と責任感を持ち、総合建設コンサルタントとして、安全で豊かな社会と持続可能な環境の創造に努めてまいります。

行動憲章

私たちは、経営理念の実現に向けて、以下の憲章を行動原則として企業の健全かつ持続的な発展に取り組み、実行します。

01. 公正かつ適切な企業活動

私たちは、法と倫理に基づいて行動し、中立性・独立性を堅持し、公正、透明で信頼を第一とした企業活動を行います。

02. お客様の満足と信頼の獲得

私たちは、常に技術力向上に努め、お客様の期待に応える高い品質のサービスを提供するとともに、情報を適切に管理します。

03. 人権の尊重と活力ある職場づくり

私たちは、自らの成長をめざし、個々の人権や多様な考え方を尊重し、創造性と専門性に優れた人材の育成と活力ある職場づくりに努めます。

描くのは、未来

01

02

03

50年間培った多くの知見と高い技術力で、 様々な分野で総合プロデュースが可能です。

時代に柔軟に対応する行動力と高い技術力に加え、
土木工学、建築工学から環境工学や生物学まで
幅広い知識を活かしたトータルプロデュースを得意としています。

マネジメントから計画・環境分野、建設、都市開発まで
これまで多くの実績を重ねて参りました。
これまでも、そしてこれからも社会を支える総合建設コンサルタントとして
明日の社会を創造します。

STRENGTH 01 : C O M P R E H E N S I V E P O W E R

総合力でこれからの社会を創造する 描くのは、未来

STRENGTH 02 : P E R F O R M A N C E

50年の歴史に裏付けられる信頼と実績、 多くの知見と技術

STRENGTH 03 : H U M A N C A P I T A L

人材を“人財”に育成し 会社は社員とともに成長

様々な インフラ 整備事業を プロデュース

当社は総合建設コンサルタントとして、国内外における道路、交通、橋梁、河川、上下水道、都市計画、環境、建築など幅広い分野において、調査から計画・設計・維持管理に至るすべての事業プロセスに対応したエンジニアリングサービスを提供しています。

近年では発注者と協働で事業を進める事業促進PPP(事業促進監理業務)、CMなど新たなマネジメント業務も実施しています。



道路

- 道路
- 道路構造物
- 電線共同溝
- 駅前広場



交通

- 道路交通計画
- 公共交通計画
- 交通施設設計画
- 総合交通計画



橋梁

- 鋼構造
- コンクリート構造
- 複合構造
- 歩道橋・ペデストリアンデッキ



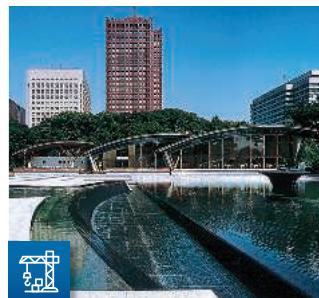
都市基盤

- 公園緑地
- 宅地造成
- 地域振興・拠点施設
- 景観設計



環境

- 自然環境
- 生活環境
- 水質・地下水保全
- 土壌汚染



建築

- 官庁施設
- 地域振興施設
- 教育施設
- スポーツ施設



トンネル

- 山岳トンネル
- 都市トンネル
- トンネル設備



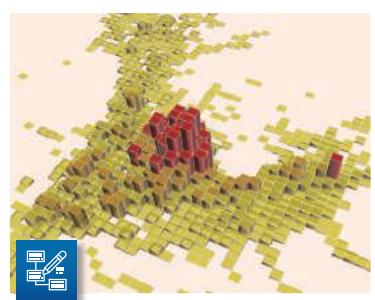
河川・海岸・砂防

- 河川構造物
- 多自然川づくり
- 海岸調査、保全
- 砂防施設



上・下水道

- 上水道施設
- 下水道施設
- アセットマネジメント
- 雨水管管理



計画

- 都市計画
- 港湾計画
- 地域振興計画
- 経営分析等



マネジメント

- 事業促進PPP
- CM/PM
- 発注者支援



維持管理・保全

- 道路、橋梁、トンネル、河川・海岸・砂防、上・下水道における点検、補修・補強維持更新、維持管理計画



海外

- フィージビリティ調査各種
海外プロジェクトにおける
調査・計画・設計・施工管理



事業分野紹介はコチラから



ROAD



道 路

多様化・高度化する 次世代の道路事業への要請に対応

地域を結び経済を支える最も重要なインフラである道路には、走行安全性、快適性、防災性能、環境空間、ライフラインの収容、維持管理などの多面的な機能が要求されます。いま道路事業は大きな転換期を迎えており、今後の道路への要求水準はますます多様化かつ高度化すると考えられます。

これまでの幅広い道路技術に対応してきた経験を活かし、今後も更に新たな技術に挑戦し対応能力を高め、次世代の要請にお応えいたします。

営業品目

- 高速道路及び一般道路の計画、設計
- 道路連絡施設(立体・平面・ラウンドアバウト)の計画及び設計
- シンボルロードの計画及び設計
- 事故・渋滞対策検討、調査設計
- 擁壁等道路付帯施設の計画及び設計
- 軟弱地盤等に関する調査、解析、設計
- 無電柱化に関する調査、計画、設計
- 道路雪氷対策
- GISを利用した道路維持管理システム

- 道路に関する実験、解析、研究開発
- 土工に関する調査、解析
- 道路面面に関する調査、解析、実験、研究開発
- 道路防災に関する調査、解析

「道路」の最新の実績はコチラ ➔



営業実績



松平IC詳細設計
(東海環状自動車道)



長井市ラウンドアバウト設計
及び交通挙動調査



シンボルロード整備基本設計
(勝どき・晴海地区)



TRAFFIC



交 通

次世代の交通課題に対する 最善のソリューションを提案

人口減少や地球温暖化、それにより甚大化する災害から、これまでコンパクトシティ等の都市政策・交通政策が推奨されてきました。しかし、生活様式の多様化やICT、AI技術の飛躍的な進歩に伴い、人・物の移動にかつてない変化が起きています。

このような中で当社は、これまで培った技術と国内外の最新情報から、今日の交通課題に対する、最善のソリューションを提案します。

営業品目

- 道路網計画、道路整備計画
- 渋滞、事故等の交通現象調査・解析及びシミュレーション
- 交通需要予測
- 各種交通量調査、解析
- 整備効果検討、事業評価
- 都市及び地方交通計画、地区交通計画
- 新交通システム及びバス交通計画
- 自転車空間、新たなモビリティに関する調査、計画
- 歩行者空間、バリアフリーの調査、計画、設計

- 道路空間の再編、有効活用、多様なニーズに対応した道路の調査、計画、設計
- 歩行者利便増進道路(ほこみち)に関する調査、計画
- 駅前広場、バスターミナル、駐車場等、交通結節点の調査、計画、設計
- ハイウェイオアシス、道の駅等の調査、計画、設計

「交通」の最新の実績はコチラ→



営業実績



コミュニティバス導入計画



交通結節点計画



道路空間の再編計画



BRIDGE



橋 梁

高度な技術力のもと、 末永く後世に残す橋梁技術を提案

橋梁は、道路や鉄道などの一部として、地域と地域を結ぶ重要な土木構造物です。

橋梁に求められる役割は、経済を支える交通ネットワークの機能だけでなく、都市のランドマークとしての役割や災害時の緊急輸送路などさまざまです。当社は、永く安全に使用できる橋を後世に残すため、今後も総合的かつ高度な技術を用いて社会の要請に応えていきます。

営業品目

- 歩道橋から長大橋まであらゆる規模の道路構造物設計
- 橋梁(鋼橋・コンクリート橋・複合橋)の計画・設計・施工監理
- ペデストリアンデッキの計画・設計・施工監理
- 新交通システム・モノレール・その他土木構造物の計画・設計・施工監理
- 土木構造物の補修計画・補修設計・耐震補強設計・景観設計
- 都市内交差点の急速立体化に関する計画・設計・施工管理
- 橋梁・土木構造物の点検・健全度評価
- 橋梁・土木構造物に関する各種調査・実験・解析・研究開発



「橋梁」の最新の実績はコチラ→

営業実績



新町川橋(鋼床版箱桁橋)



長谷橋(合理化トラス橋)



はっしータワー(片持式斜張橋)



TUNNEL



トンネル

調査・計画・設計から維持管理まで、 地下構造物のあらゆる要請に対応

わが国は、国土の約85%が山地であり、多くのトンネルが施工されてきました。今後も、急峻な峠部分の改良や災害時の緊急道路の確保を考えると、トンネルの必要性は計り知れません。一方、都市部に目を移せば、交通需要に対する市街地の環境保全、土地の有効利用から地下空間の活用が注目されています。

当社は、トンネル等の地下構造物の調査・計画・設計から、維持管理にいたるまで、あらゆる要請にお応えいたします。

営業品目

- トンネルの地形・地質、水文、環境等の調査、解析
- 山岳トンネル(NATM、在来工法等)
- 都市トンネル(開削工法、シールド工法、NATM等)
- トンネルの換気、照明、防災、内装等設備の計画、設計
- トンネルの管理運用計画及び補修・補強設計
- トンネル工事に伴う計測、解析及び施工監理
- トンネルに関する調査、実験、研究開発
- 地下空間の開発利用に関する調査、計画及び設計

「トンネル」の最新の実績はコチラ→



営業実績



沢野トンネル詳細修正設計



つつじヶ丘トンネル詳細設計
(第20回全国街路事業コンクール特別賞)



宮峰トンネル詳細設計



RIVER



河川・海岸・砂防

“水を治め、水を生かす”をテーマとした 川づくり、街づくりを提案

わが国は、台風や高潮等の自然災害が多発する厳しい国土条件にあり、近年の気候変動に伴う災害の甚大化から、国民の安全・安心を守るために、治水事業による、防災、減災対策の強化が必要です。

一方、今日では河川区間の利用、自然環境の保全等に対する人々の関心も高く、河川事業は治水と環境の両立が求められています。

当社は、”水を治め、水を生かす”をテーマに川づくり、街づくりに取り組んでいきます。

営業品目

河 川

- 流出解析、氾濫解析、浸透流解析、ハザードマップ作成、治水経済調査
- 河道計画、都市河川計画、内水処理、河口処理、多自然川づくり、河川環境整備
- 高規格堤防、堤防強化、防災ステーション、水門、柔構造樋門、排水機場、取水堰
- 床止め、環境護岸、調整池、耐震設計、長寿命化計画

海 岸

- 海岸調査、波浪解析、海浜流解析、海浜変形予測、海岸保全計画、侵食対策、耐震設計

砂 防

- 砂防調査、砂防全体計画、土石流対策、流木対策、砂防堰堤、渓流保全工、長寿命計画

「河川・海岸・砂防」の最新の実績はコチラ ➔



営業実績



黒目川築堤詳細設計



砂防堰堤詳細設計



高知海岸ヘッドランド詳細設計



WATERSUPPLY



上・下水道

安全・安定・安心を備えた 上・下水道施設への技術提供

上水道は生活や産業を支える都市の基本システムであり、安全な水を安定的に供給する必要があります。当社では、上水道については、調査、計画策定から資産、財産管理、施設の設計まで、安全で安定した水道システムを構築する技術を提供しています。また、下水道は、汚水処理や雨水排除により、健康で安全・快適な生活環境を確保し、広く自然環境の保全に寄与する都市システムです。当社では、下水道について、調査、計画、設計、災害対策、ストックマネジメントに関する技術を提供しています。

営業品目

上水道

- 基本・更新計画、アセットマネジメント、カーボンニュートラル
- 施設設計(浄水場、配水池、ポンプ場)
- 管路設計(送水管、配水管、水管橋、パイプインパイプ)

下水道

- 基本計画、ストックマネジメント、雨水流出解析、合流改善
- 災害対策(内水氾濫、浸水耐震化、耐水化)
- 管路設計(下水道管きょ施設、貯留管、雨水調整池)



「上・下水道」の最新の実績はコチラ→

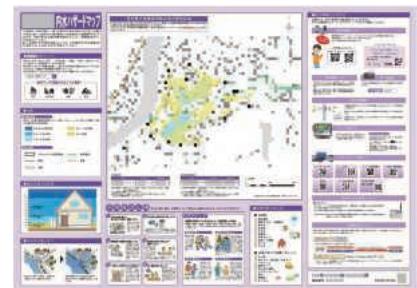
営業実績



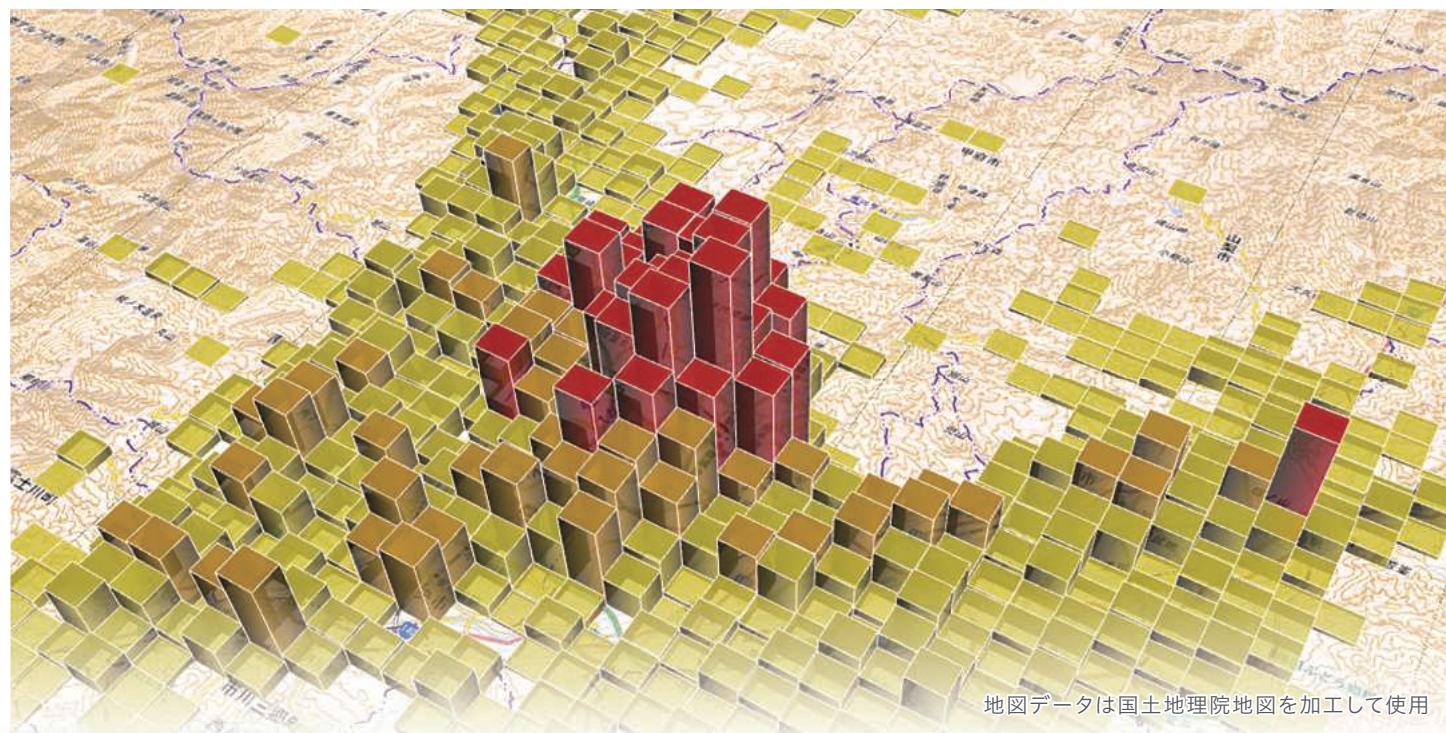
配水池詳細設計



雨水貯留管詳細設計



内水氾濫解析及び内水ハザードマップ作成



地図データは国土地理院地図を加工して使用

PLANNING



計画

営業品目

都市計画

- 都市計画マスターplan --- 立地適正化計画
- 土地利用計画 --- 都市再生整備計画
- 駅周辺まちづくり計画 --- 景観計画、緑の基本計画
- IoT、ビッグデータ、AIなどのまちづくりへの活用

地域振興計画

- 道の駅整備計画 --- 地域振興計画
- エリアマネジメント計画 --- 道路空間利活用計画
- 地域防災計画 --- 国土強靭化計画
- BCP(事業継続計画)
- インバンド誘致等の地域観光戦略策定(SNS等の活用)

港湾計画

- 港湾計画 --- みなとまちづくり(みなとオアシス等)
- 國際物流戦略検討(コンテナ/バルク/RORO/フェリー)
- クルーズ受入戦略 --- 港湾の事業継続計画(港湾BCP)策定
- カーボンニュートラルポート(CNP)形成計画
- IoT、ビッグデータ、AIなどコンテナターミナル等への活用

地域経営

- 経済波及効果の分析(産業連関分析、CGEモデル)
- インフラ整備効果・事業評価(都市施設、港湾施設等)
- PPP/PFI導入可能性調査
- 事業採算性・経済性評価



「計画」の最新の実績はコチラ▶

営業実績



沖縄高速船輸送実験調査



住民参加ワークショップの運営支援



国際物流戦略の策定検討



INFRASTRUCTURE



都市基盤

様々な施設の基盤整備から事業マネジメントまで、まちづくり全体をサポート

地域振興と安全安心な環境整備には、敷地造成、公園やインフラ等の基盤整備が不可欠です。

当社は住宅団地、産業用地、公園緑地、地域振興施設、エネルギー基地、交通結節点等、様々な施設の基盤整備を手掛けています。

当社の都市計画、建築、土木、環境などの技術者と連携し、使いやすい区画割り、バリアフリー、防災、景観、環境に配慮した計画・設計を行います。また、開発に向けた可能性調査、開発許可申請等の諸手続きや関係機関協議等からスケジュール管理も含め事業全体のサポート、及び合意形成、施設の長寿命化計画、事業評価、PPP/PFIといったマネジメントまで幅広く対応しております。

営業品目

公園緑地

- 新規 公園リニューアル
- 防災・減災機能見直しましたは追加
- 各種競技場外構(園路、駐車場、植栽、サイン等)
- 長寿命化計画(点検調査、保全計画)
- 事業評価
- PPP/PFI

宅地造成

- 工業・産業団地可能性調査から各種設計
- 宅地耐震化推進事業
(宅地の安全性確認・把握、浸水被災地での宅地等の嵩上げ)
- 道の駅(駐車場、通路、広場など)
- 建物基盤整備(新規、拡張)

地域振興・拠点施設

- 道の駅可能性調査から各種設計
- 駐前広場・バスターミナル
- 駐車場
- 街区道路、歩行者専用道路

景観設計

- 現況・予測・評価調査
- コンセプト・意匠デザイン
- フォトモンタージュ、VR動画

「都市基盤」の最新の実績はコチラ→



営業実績



高尾駒木野庭園実施設計業務



南八王子地区整地実施設計



工業団地整備業務



ENVIRONMENT



環境

持続可能な社会の実現に向けた “人と自然の新たな共生関係の構築”を支援

気候変動や人口減少、経済のグローバル化、社会資本整備の進展に伴い、生物の生息・生育環境も私たちの生活環境も大きく変化しており、人と自然の新たな共生関係の構築が必要です。また持続可能な社会の実現に向けSDGsへの対応も求められています。私たちは、生物生息・生育環境と生活環境の調査、保全、育成、管理を通じて人と自然の新たな共生関係の構築を目指します。また、専門家や地域住民、関係団体との合意形成、委員会・検討会の対応など、環境に関わる業務全般について支援いたします。

営業品目

自然環境

- 動植物相(現地確認調査、同定、リスト作成)
- 貴重種調査・保全対策、貴重種移植実施
- 環境DNA調査・分析
- 環境影響評価
- ビオトープ計画・設計

生活環境

- 大気・振動、騒音現地観測調査・保全対策
- 影響評価

水質・地下水保全

- 水質調査・浄化対策
- 水収支解析水文調査
- 地下水位電気探査解析

土壤汚染

- 地歴調査、サンプル調査
- 汚染土対策
- 処理対策設計

「環境」の最新の実績はコチラ→



営業実績



小名浜港湾土壤対策検討業務



茨城県植物生育管理業務



一般国道140号道路環境影響検討業務



ARCHITECTURE



建築

地域振興・福祉・防災などの幅広いニーズに応じた建築物の整備

総合建設コンサルタントの建築設計事務所として、都市計画、環境・公園緑地、土木・交通インフラ等の関連分野と連携した、建築物の調査・企画・計画・設計・監理までの一連の業務を行っています。また、公民連携(PPP/PFI)などの事業運営手法を含めた可能性検討、公共施設再配置等のアセットマネジメント、長寿命化・維持管理検討、バリアフリー・ユニバーサルデザイン対応や地域振興、防災拠点整備等、幅広いニーズに対応した支援を行っています。

営業品目

官庁施設

- 庁舎等公共施設(庁舎、消防・防災施設、排水機場・浄水場)
- 公共施設再編
- 防災拠点整備、地域防災計画策定
- 地下施設(駐車場、駐輪場、歩道)

地域振興施設

- 道路関係施設(道の駅、パーキングエリア)
- 複合施設、再開発関係施設(公民館、物産館、レストラン、コミュニティースペース、子育て支援施設)
- 農産物・水産品加工直売所
- 温浴施設、宿泊施設、リゾート施設

教育施設

- 小中学校校舎(校舎、給食棟、音楽ホール)
- 展示施設(博物館、郷土資料館、動物園・植物園展示施設、情報発信施設)
- 複合施設(図書館、多目的ホール、商業施設)

スポーツ施設

- 屋外施設(陸上競技場、野球場、運動公園)
- 屋内施設(体育館、ヨットハウス、プール)
- レジャープール
- 管理・運営施設



「建築」の最新の実績はコチラ→

営業実績



桐蔭学園



水郷プール



新宿副都心4号線地下歩道



MANAGEMENT



マネジメント

総合建設コンサルタントの 技術力を駆使したマネジメントの提供

道路事業を効率的に促進するためには、官民がパートナーを組み、官民双方の多様な技術・豊富な経験を活かしながら、事業をマネジメントしていくことが重要です。

計画・設計に関する技術はもとより、用地、環境や施工計画、将来の維持管理に関する知識・経験も必要となります。

マネジメント分野では、当社の総合建設コンサルタントとしての技術力を駆使して、事業促進PPP(Public Private Partnership)・PM(Project Management)・CM(Construction Management)などのマネジメント業務に取り組んでいます。これらの業務に取組み、今後も高度な技術サービスの提供による社会貢献を果たしていきます。

営業品目

- 事業促進PPP(パブリック・プライベート・パートナーシップ)
- PM(プロジェクトマネジメント)
- CM(コンストラクションマネジメント)
- 発注者支援業務

[「マネジメント」の最新の実績はコチラ ➔](#)



営業実績



熊本復興事業監理CM(新阿蘇大橋)



相馬福島道路(靈山～福島)
事業監理業務(伊達中央IC)



相馬福島道路(靈山～福島)
事業監理業務(上保原トンネル)



MAINTENANCE



維持管理・保全

安全・安心、持続可能な社会インフラのメンテナンスへの対応

わが国では、高度成長期に大量に整備された社会資本の老朽化が進んでいます。

一方で、限られた労働力と予算の制約などにより、老朽化したすべての社会資本を更新することは難しく、予防的措置による長寿命化や機能の複合化・集約など、少子高齢化に対応した社会資本の整備、維持管理が求められております。

当社は、道路・橋梁・トンネルを始めとする土木構造物の点検・調査・診断はもとより、補修・補強設計、アセットマネジメント、公共施設全体の再配置計画や資産価値向上戦略の立案など、維持管理に必要なさまざまな技術を提供します。

営業品目

橋 梁

- 橋梁・土木構造物のアセットマネジメント
- 橋梁・土木構造物の点検・詳細調査・健全性評価
- 災害後の道路施設の緊急点検
- 橋梁・土木構造物の補修・補強設計
- 橋梁・土木構造物の維持管理計画策定
- 橋梁長寿命化の策定・更新

トンネル

- トンネル、地下構造物、法面等の維持管理計画、点検、調査、補修
- トンネル設備の維持管理計画、更新設計

河川・海外・砂防

- 河川構造物長寿命化計画策定
- 海岸保全施設長寿命化計画策定



「維持管理・保全」の最新の実績はコチラ→

営業実績



白鬚橋耐震補強設計



天城橋点検



田尻スカイブリッジ点検



OVERSEAS



海外

国内で培った総合的な エンジニアリングサービスによる国際貢献

現在の国際社会は、グローバル化が進展する中で、貧富の格差、民族的・宗教的対立、紛争、テロ、自由・人権及び民主主義の抑圧、環境問題、感染症、男女の格差など、数多くの問題が絡み合い、新たな様相を呈しています。その中で国際貿易の恩恵を享受し、資源・エネルギー、食糧などを海外に大きく依存する我が国が国際社会に果たすべき役割は非常に大きいとされています。弊社は建設コンサルタントとして、道路・河川・都市・防災など幅広い分野において、国際社会の安定と発展及び持続可能な開発に係る社会資本整備に貢献するため、調査から計画・設計・施工管理に至る全ての事業プロセスに対応したエンジニアリングサービスを提供します。

営業品目

- 歩道橋から長大橋まであらゆる規模の道路構造物設計
- 橋梁(鋼橋・コンクリート橋・複合橋)の計画・設計・施工監理
- ペデストリアンデッキの計画・設計・施工監理
- 新交通システム・モノレール・その他土木構造物の計画・設計・施工監理
- 土木構造物の補修計画・補修設計・耐震補強設計・景観設計
- 都市内交差点の急速立体化に関する計画・設計・施工管理
- 橋梁・土木構造物の点検・健全度評価
- 橋梁・土木構造物に関する各種調査・実験・解析・研究開発
- 道路の計画・設計・施工管理
- 地すべり、落石等の面安定工の計画・設計・施工管理
- 道路・橋梁・河川工事に伴う環境許可の取得

「海外」の最新の実績はコチラ▶



営業実績



ハイチ国クロワ・デ・ミッション橋梁
及び新線橋架け替え計画
JAPANコンストラクション国際賞(最優秀賞)



パラグアイ国主要幹線道路改良事業
(延べ約1,200 km)



キルギス国国際幹線道路改善事業

沿革 HISTORY

1967年	<ul style="list-style-type: none"> セントラルコンサルタント株式会社を設立(1967年1月30日) 東京都千代田区永田町 資本金 6000万円／代表取締役社長 谷藤正三 建設コンサルタント登録 測量業者登録 名古屋事務所開設 (1975年11月名古屋支店に昇格、1997年10月中部支社に改称) 大阪事務所開設 (1967年11月大阪支店に昇格、1993年11月大阪支社に改称) 仙台出張所開設 (1973年8月仙台事務所に昇格、1975年11月仙台支店に昇格、1997年10月東北支社に改称) 建設コンサルタント協会へ加入 	<ul style="list-style-type: none"> 1994年 決算期を9月末に変更 地質調査業者登録 中期経営計画大綱（REAP21）を策定
1968年	<ul style="list-style-type: none"> 本社を東京都千代田区大手町に移転 資本金 1億 2000万円 (6000万円増資) 	
1970年	<ul style="list-style-type: none"> 決算期を10月末に変更 	
1971年	<ul style="list-style-type: none"> 三菱健康保険組合に加入 本社を東京都新宿区西新宿に移転 	
1973年	<ul style="list-style-type: none"> 土日完全2日制導入 本社を東京都目黒区下目黒に移転 	
1974年	<ul style="list-style-type: none"> 海外室設置 (1983年11月海外部に昇格、1999年10月海外統括部に昇格、2005年10月海外部へ改組、2018年10月海外事業部に改称、2021年10月海外部へ改組) 	
1977年	<ul style="list-style-type: none"> 広島支店開設 一級建築士事務所（東京都）を設置 	
1979年	<ul style="list-style-type: none"> 会長に谷藤正三、社長に市原薰が就任 	
1989年	<ul style="list-style-type: none"> 会長に市原薰、社長に富永正照が就任 第1回技術発表会を開催 	
1990年	<ul style="list-style-type: none"> 本社を東京都大田区南蒲田に移転 	
1992年	<ul style="list-style-type: none"> 資本金 1億 3000万円 (1000万円増資) 	
1993年	<ul style="list-style-type: none"> 計量証明事業所登録 	
1994年		<ul style="list-style-type: none"> 決算期を9月末に変更 地質調査業者登録 中期経営計画大綱（REAP21）を策定
1995年		<ul style="list-style-type: none"> 会長に富永正照、社長に小笠原康夫が就任
2000年		<ul style="list-style-type: none"> 九州支店開設 (2018年10月九州支社に昇格)
2001年		<ul style="list-style-type: none"> 会長に小笠原康夫、社長に住吉幸彦が就任
2002年		<ul style="list-style-type: none"> ISO9001：2000登録認証（全社）
2004年		<ul style="list-style-type: none"> 本社を東京都中央区八丁堀に移転
2006年		<ul style="list-style-type: none"> グアテマラ支店を開設
2008年		<ul style="list-style-type: none"> パラグアイ支店を開設
2009年		<ul style="list-style-type: none"> ISO9001：2008への移行認証取得
2011年		<ul style="list-style-type: none"> 東北支社に東日本大震災復興支援室を設置(2021年3月廃止) 会長に住吉幸彦、社長に馬場直俊が就任
2013年		<ul style="list-style-type: none"> 本社を東京都中央区晴海に移転
2014年		<ul style="list-style-type: none"> ボリビア支店を開設
2016年		<ul style="list-style-type: none"> フィリピン支店、ミャンマー支店を開設 会長に馬場直俊、社長に木原一行が就任
2017年		<ul style="list-style-type: none"> 創立50周年（1月30日） ISO9001：2015への移行認証取得
2021年		<ul style="list-style-type: none"> 執行役員制度導入（2021年12月） 代表取締役 社長執行役員に木原一行が就任
2023年		<ul style="list-style-type: none"> 代表取締役 社長執行役員に中田健一が就任





www.central-con.co.jp